



生徒指導部から（２・３年生へ）

== 未来の花を咲かせるために ==

2026年7月10日

夏休み目前。夏休みは部活動やアルバイトなど自分を磨くために時間の使い方を選ぶ貴重な期間、３年生は進路実現のための頑張りどころ。何をするにしても、まじめに取り組むからこそ、困難なことにぶつかること、苦しいことにつまづくことが起こります。そんな時こそ自分を成長させるチャンス、それを乗り越えてこそ自分の未来のためになるのだと、「苦しいからこそ、頑張らなきゃ。」と思える人でいてください。うまくいかないから「めんどくさい」と言うことは、自分の将来を切り拓くことを「めんどくさい」と言ってるようなものですから。若さ溢れるあなたたちは、今まさに、自分の可能性を広げようとしているのです。

夏季休業中の生徒心得（あんしんメールで送付）を参考に有意義な45日間を過ごしてください。

『回転寿司』

お寿司を手頃で食べやすく、身近なものにした『回転寿司』。

私たちの生活の中にすっかり定着して久しくなりました。

鹿児島市内にもたくさんの店舗があります。昔ながらの寿司屋さんと違って、定番のすしネタはもちろんいろんな工夫を凝らしたネタまで、バラエティに富んでいます。



そんな『回転寿司』の様子を「仕事」や「生き方」に例えた大学教授がいました。

NEET (Not Education, Employment or Training)という言葉が日本に広めた方です。

NEETとは、「就職も進学もせず、職業訓練も受けていない若者」のことを指し、

働く意欲を持てず、働かない15歳～34歳(統計により異なる)の人のことで、

直近の統計(2024年)では、61万人に上り、当該年齢層の2.4%、約50人に1人の割合で高止まりの傾向にあります。

さて、回転寿司の様子とは、

席に着かないとお寿司を手にはすることはできない。

席に着けば、目の前には、たくさんの種類のお寿司が回ってくる。

回ってくるお寿司は、好きなもの、嫌いなもの、初めて目にするものなど様々である。

一旦手に取った皿を回転台に戻すのは、他のお客に失礼でタブーである。

好きなネタしか食べなければ、「お店のおすすめ」など新しい味に出会えない。

好きなネタがないから、と席を立てば、もう何も食べることはできない。



席を企業、お寿司の皿を仕事に置き換えて考えるというのです。

企業に就職しなければ、仕事を手にすることができない。

就職すれば、いろいろな仕事を手にするチャンスが回ってくる。

仕事には、好きな仕事、嫌いな仕事、初めての仕事などいろいろなものがある。

一旦引き受けた仕事は、どんなことでも投げ出すことはできない。

好きな仕事ばかり選んでいたら、いつまでも新しい仕事を覚えられない。

きつい、つらいと、退職してしまえば、もう仕事は回ってこない。



ちょっと極端かもしれませんが、概ね言い当てていると思います。

いろいろなものを食べた上で嗜好が固まった年配者ならともかく、君たちの年代は、どんどん新しい味に出会うべきです。まずいと思っていたネタが実は食わず嫌いで、とても美味しかった、ということもあります。

生き方も同じで、好きなことばかりで楽をするのではなく、きついこと、嫌いだと思うことにも挑戦して、可能性をどんどん広げるべきです。

そうすれば、今まで気づかなかった自分の才能を見つけられるかもしれません。

回転寿司で、いつも「サーモン」だけ・・・自分の好きなものだけではなく、いろんなネタを味わってみるような生き方が自分の幅を広げてくれるのではないのでしょうか。

３年生はいよいよ夏休みの三者面談で、最終的な進路希望先が決まりますね。

２年生はいろんなことに挑戦し、自分の可能性をどんどん広げてほしいと思います。

いずれにしても、自分で決断して決める進路や生き方なら、

いつかそれが正しかったと思えるように、好きな仕事も嫌いな仕事も、

楽しいこともつらいこともとりあえずやってみるしかなさそうです。